

平成30年度第4回

長洲町

総合教育会議記録

平成30年度第4回長洲町総合教育会議

○日 時

平成31年3月4日(月) 午前10時30分～午前11時50分

○場 所

長洲町役場3階大会議室

○出席者(6名)

町 長	中 逸 博 光	教 育 長	戸 越 政 幸
教 育 委 員	坂 本 裕 文	教 育 委 員	田 中 伏 美
教 育 委 員	徳 田 美 津 子	教 育 委 員	隈 部 壽 明

○欠席者(0名)

○事務局(13名)

副 町 長	平 川 一 喜	総 務 課 長	濱 村 満 成
学 校 教 育 課 長	松 林 智 之	生 涯 学 習 課 長	藤 井 司
生 涯 学 習 課 長	藤 井 司	生 涯 学 習 課 係 長	中 山 太 喜
生 涯 学 習 課 長 補 佐	荒 木 功	子 育 て 支 援 課 長	山 本 明 子
ま ち づ くり 課 長	田 成 修 一	福 祉 保 健 介 護 課 長	宮 本 孝 規
総 務 課 長 補 佐	杉 浦 親	総 務 課 総 務 係 担 当	五 十 嵐 史 紘
総 務 課 総 務 係 担 当	甲 田 結 香		

○アドバイザー(6名)

長洲町文化協会会長	前 田 俊 彦	的ばかい保存会会長	北 野 誠 司
長洲嫁入り唄保存会会長	塩 山 アイ子	清源寺神楽保存会会長	田 上 正 二
腹赤神楽保存会・楽保存会代表	西 林 昌 幸	折地カイクイ人形保存会会長	松 尾 重 勝

議事次第

1 開会

2 主催者挨拶

3 協議・調整事項

長洲町における文化振興について

○長洲町における文化活動の現状等に係る説明（生涯学習課）

○長洲町の伝統産業である「金魚」に関する説明（まちづくり課）

○各団体のご意見等

○意見交換・全体協議

4 その他

平成31年度長洲町総合教育会議について

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、定刻でございますので、始めさせていただきます。

それでは、ただいまより平成30年度第4回長洲町総合教育会議を開会いたします。

それでは、開会に当たりまして、主催者であります中逸町長よりご挨拶申し上げます。

【中逸町長】 皆様、こんにちは。本日は、お忙しいところにお集まりいただきまして、ありがとうございます。

前回の総合教育会議では、子どもの貧困対策についてご意見をいただきました。

色々ご意見がございましたが、様々な支援制度の紹介、親への教育、そして、ふるさと塾、寺子屋塾の充実などのご意見が出されました。今後とも、様々な面で、総合的な支援策を検討してまいりたいと考えておりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

さて、今回の総合教育会議では、「長洲町における文化振興」について協議をお願いしたいと考えております。

文化活動と申しましても、様々な分野がございます。無形文化財はもちろんのこと、日舞や書道、ダンス、華道、茶道など、すべての世代において一生懸命に楽しみ、生活の一部として取り組んでおられます。

一方、活動の広がりや、指導者の後継者不足など、様々な課題があることも認識しております。

本日は、本町において、特に熱心に文化振興に取り組んでいただいている6団体をお招きしておりまして、日頃からの取組みに敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。本日に、ありがとうございます。

皆様には、様々なご意見をお聞かせいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

それでは、簡単でございますが、以上、挨拶とさせていただきます、本日の議題を進めさせていただきます。今日はよろしく願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 次に、ご出席者のご紹介でございます。

まずは、委員のご紹介をさせていただきます。

長洲町長、中逸博光委員です。

【中逸町長】 よろしく願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 長洲町教育長、戸越政幸委員です。

【戸越教育長】 よろしくお世話になります。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 教育委員、坂本裕文委員です。

【坂本委員】 どうぞよろしくお願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 同じく教育委員、田中伏美委員です。

【田中委員】 おはようございます。よろしくお願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 同じく教育委員、隈部壽明委員です。

【隈部委員】 おはようございます。よろしくお願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 同じく教育委員、徳田美津子委員です。

【徳田委員】 よろしくお願いいたします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 また、本日は、アドバイザーとして、長洲町文化協会・会長の前田様、的ばかい保存会・会長の北野様、長洲嫁入り唄保存会・会長の塩山様、清源寺神楽保存会・会長の田上様、腹赤神楽保存会・及び・楽保存会・代表の西林様、折地カイカイ人形保存会・会長の松尾様にご出席をいただいております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

事務局につきましては、お手元の席次表をご確認くださいよう、お願い申し上げます。

それでは、これより、本日の次第3にございます協議・調整事項となりますが、一点、お願いがございます。会場の都合上、マイクの数に限られておりますので、誠に恐縮ですが、ご発言者にお近くのマイクをお渡しいただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、長洲町総合教育会議運営規約第2条におきまして町長が議長になることとなっておりますので、これからは町長に議事の進行をお願いいたします。

《 3 協議・調整事項 》

【議長（中逸町長）】 皆様、改めましてよろしくお願いいたします。

皆様、改めましてよろしくお願いいたします。

本日は、長洲町における文化振興についてご協議をお願いいたします。まずは、生涯学習課と、まちづくり課から、当町の現状などを報告させていただきまして、その後、皆様と意見交換をさせていただければと考えております。

それでは、まず、藤井課長、よろしくお願いいたします。

【藤井生涯学習課長】 生涯学習課の藤井でございます。申し訳ありませんが、座って説明

をさせていただきます。私からは、当町における文化振興と申しますか、現状などについて説明をいたします。文化・芸術は、鑑賞する人々に感動や喜びをもたらし、人生を豊かにするものでございます。また、鑑賞する人だけではなく、それを創り出す人や継承する人にとっても同様に感動と喜びをもたらしていくものです。

本町におきましては、豊かな文化の創造と振興を目指し、町文化協会を中心として各所属団体や関係機関と連携し、より一層の文化祭の充実や文化団体の育成・支援を図り、多くの住民の皆さんが主体的に参加できる町文化の向上に努めているところでございます。

資料の1枚目をご覧ください。本日ご出席をいただいております団体について紹介させていただきます。次に、資料の2枚目をご覧ください。こちらでは、平成30年度における主要な文化事業の実績を紹介しております。年間を通して大きく2つの事業「春の文化展」と「長洲町文化祭」がございますが、まず、春の文化展では、5月12日から16日まで、文化協会主催によります会員団体などの作品の展示を、中央公民館ロビーにて開催しております。次に、2つ目の事業である長洲町文化祭として、文化協会と教育委員会の共催という形で事業を実施しております。6月17日には日本舞踏発表会、7月8日にはバレエ発表会、7月29日にはカラオケ発表会、9月16日にはコーラス発表会、11月にメインの文化祭の開会式を皮切りに、1週目に芸能祭、2週目に展示会を開催しております。開催にあたっては、多くの会員の皆さんによる見ごたえある芸能の披露と、素晴らしい作品の展示がなされております。次に、資料の3枚目をご覧ください。長洲町文化協会に加盟しております団体の一覧でございます。全部で72団体となっており、皆さん、熱心に活動を継続しておられます。最後に、資料の4枚目をご覧ください。長洲町指定文化財の一覧でございます。本町の文化財は、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた大切な地域の財産でございます。この文化財の保護につきましては、町文化財保護委員会、さらには本日ご出席の保存会の皆さんをはじめ、関係団体・地元住民の皆さんと連携しながら、町内の各所に伝わる有形・無形の文化財の保護・継承を図るとともに、啓発活動やふるさとの伝統・文化を大切にする心づくりを推進しているところです。資料の4番に新山区に所在の海難碑がございますが、こちらはご存知の方も多いと思いますが、明治26年に、当町の漁師がアミ漁に出られ、台風により遭難された321名の漁師の皆さんの供養塔でございます。なお、犠牲となられた一部の方のご遺体が遠くは上天草の大矢野町白涛地区と串地区にも漂着されたため、それぞれの地区の皆さんにより手厚く埋葬され、現在まで供養されておられます。

本町では毎年2月に町長はじめ文化財保護委員、漁業関係者の皆さんで、その2地区にお伺いし、お参りさせていただき、さらには管理者の地元区長さんにお礼のご挨拶をさせていただき、良い交流ができております。今年も先月25日のお伺いしたところでございます。

また、資料の14番目に腹赤区の所在の立花宗茂公夫人（闇千代姫）の墓、いわゆるボタモチさんがございます。こちらにつきましてもご存じのとおり近年、テレビの歴史番組などで多く取り上げられ、さらには2年前から柳川市を中心としてNHK大河ドラマ招致活動がなされていることから、今後、観光客など来訪者の増加が予想されますため、ここボタモチさん周辺の整備を検討しているところです。今年度は有識者の皆さんによる検討委員会において整備に向けてのご意見をいただいたところです。今後については、いただきましたご意見を参考に整備計画を策定し、その整備を進めてまいります。

その他の文化財につきましても適正な保護に努めてまいります。

以上で本町における文化活動の現状等につきましての説明を終わります。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。続きまして、当町の伝統産業であります金魚の振興について、まちづくり課から説明をお願いします。

【田成まちづくり課長】 まちづくり課の田成でございます。私からは、当町の伝統産業であります金魚の振興について説明をさせていただきます。申し訳ありませんが、座って説明をさせていただきます。金魚養殖の歴史でございますが、明治の頃には養殖がなされていたという記録がございまして、特に、金魚の餌になりますミジンコの大量生産の技術が確立された頃から多くの養殖業者が金魚の養殖を始め、最盛期では60名以上の生産者がおられたようですが、現在は、12件の生産者の皆さんが養殖業を営んでおられます。

また、平成7年に供用開始しております金魚と鯉の郷広場を核としまして、町民や町外の方への情報発信、憩いの場として様々なイベントの実施、5月に開催されます金魚と鯉の郷まつりや、10月に開催しております金魚の品評会、そして、11月には、まねき猫と金魚を開催しております、愛知県瀬戸市とは金魚とまねき猫を通じて交流を図っております。また、3月には新たなイベントとしまして、ポケットモンスターのキャラクターのデザイナーであります西田あつこさんのプロデュースのもと金魚とおひなさまというイベントも開催しております。その他、町内各所に金魚のモニュメントや看板を設置しており、これらを通じて、当町の観光資源でもあります金魚のPR、普及、振興を図っております。

また、全国有数の金魚の産地であります奈良県大和郡山市や愛知県弥富市、東京の金魚

坂などとも交流を図っており、昨年においては、金魚サミットと称しまして、ながす未来館にてこれらの関係者をお招きし、金魚の振興を願う関係者が一堂に会しまして盛況のうちに開催されました。

このように金魚の振興に取り組んでいる訳ですが、やはり課題としましては、生産者の後継者不足があげられます。魅力的な金魚の振興に取り組むとともに、これらの課題に対しても真剣に取り組んでまいります。以上でございます。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。次に、各団体から、現状や、今後の方策などについて、ご意見をいただきたいと思っております。このような活動をしています、このように後継者を育てていますなど、何でも構いませんので、忌憚のないご意見をお聞かせ願えればと考えております。なお、時間の都合上、大変申し訳ありませんが、おひとり5分程度でお願いできればと思っております。それでは、折地カイカイ人形保存会から順にお願いいたします。

【松尾折地カイカイ人形保存会会長】 それでは、折地区に伝わっておりますカイカイ人形のことでお話しします。現在、折地区では、3月に一回程度の練習を行っておりますが、中々人が集まらないという現状があります。やはり、定期的に練習をしないと忘れてしまいますので、このようにしているんですが、皆さんお忙しいので、参加できる方が参加しているというようです。今は、定年退職をされても、仕事を持っておられる方が多くおられますので、皆さん忙しいんですね。60歳を過ぎて後継者にといい時代が昔はあったんですが、皆さんお仕事をされている中で、時間がない中で声をかけても中々参加していただけない、そういう課題を持っております。

また、稲わらの確保という面でも苦勞をしています。衣装と言いますか、それぞれ人に合わせて衣装を作成するものですから、多くの稲わらが必要とします。これまでは農家の方にご協力をいただいて何とか確保していたんですが、今は機械で稲刈りもしますんで、稲わらが短いんですね。これだと中々作るのが難しい。こういった課題もあります。

以前は、文化祭で披露したこともありましたが、今は何とか維持しているのがいっぱい、そこまでは出来ていません。やはり、後継者を見つける必要があるんですが、難しいというのが現状です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。次に腹赤神楽保存会の西林さん、よろしいでしょうか。

【西林腹赤神楽保存会・楽保存会代表】 腹赤で神楽と楽の保存会をしております西林で

す。よろしくお願いします。代表とありますけど、会長は区長がしておりまして、わたしは今まで取り組んでまいりましたので、実情を知っている者として、今回は出席しました。

神楽と楽は、現在は何とかメンバーもおりまして、一時は休止状態だったんですが、何年か前に復活することができました。私たちは奏者であり、指導者でもあるんですが、今は主要なメンバーとして子どもたちが頑張っております。子供会活動として取り組んでいたこともあって、男の子、女の子、それぞれ参加してもらっています。年に何回か天満宮などに奉納するので、披露する場もあり、地域の方にも応援してもらっていると感じています。

神楽というものは、踊りと、笛と、太鼓で行うものですが、わたしなんかは若いころに練習する時は、踊りを覚えたら、踊りを笛に合わせるために笛を練習しろと言われてまして、次は太鼓も覚えなさいとなって、かなり練習をした記憶がございます。長いものだと50分程度ありますから、かなり大変です。楽譜もないので、指の動きを後ろから見て覚えることの繰り返しでした。

ですので、結構練習が必要なので、かなり大変だと思います。今はビデオに撮って、練習に使ったりしていますので、残すということでも意味があることだと考えています。

何とか続けられていますので、先細りしないように、新規のメンバーも勧誘しながら、維持していきたいと考えているところです。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。次に清源寺神楽保存会の田上さん、よろしいでしょうか。

【田上清源寺神楽保存会会長】

清源寺の田上です。よろしくお願いします。

清源寺神楽は、昭和51年に町の無形文化財に指定されまして、更に平成4、5年頃に、熊本県から郷土芸能活動補助事業の指定を受けまして、現在に至っております。現在、会員は15名で活動しておりまして、さきほどお配りしました資料に写真がございますように、日曜日の午後7時半から9時まで公民館で集まって練習をしています。その様子が下から2つ目の写真ですね。子供たちはですね、塾や習い事などで忙しくて、なかには眠そうにしている子供もいますけれども、みんな頑張って練習にきてくれています。写真をご覧のとおり、小学生から80代まで幅広い世代が集まりますので、世代間の交流もできて楽しく練習できていると思います。後継者の話が出てますけれども、うちは腹赤小学校3年生の

総合学習の時間をいただいて、子供たちに神楽を実際に体験してもらい、それで興味を持ってもらって、参加してもらえるように呼び掛けています。まずは神楽というものに興味をもってもらい、そこからですね。ただですね、練習は夜になりますので、どうしても送り迎えの問題がありますので、保護者に送迎をしてもらわないといけないんですよね。ですから、保護者も含めたところで協力をしていただきながら、活動を続けている状況です。おかげさまで会員も増加しておりまして、町の文化祭に出演したりですとか、老人保健施設に慰問に行ったり、天満宮で朝太鼓も毎月3回、奉納させていただいております。その他にもですね、代々受け継いだ神楽を伝承するために、いまは動画を撮って、それをDVDに保存したものを新規会員に見てもらって、教材として役立てています。これからも、120年以上の歴史をもつ、この清源寺神楽に誇りを持ってですね、活動を続け行こうと思っているところです。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。次に長洲嫁入り唄保存会の塩山さん、よろしいでしょうか。

【塩山長洲嫁入り唄保存会会長】

塩山でございます。よろしくお願いいたします。

本日はこのような会にお呼びいただき、ありがとうございます。長洲嫁入り唄保存会は、現在31名の会員で活動しております。この保存会というのはですね、唄や三味線、太鼓などのお囃子に合わせまして、白無垢姿の花嫁や、長持による嫁入り行列を再現しているものです。活動としましては、1月が成人式、これはですね、実際に成人者のどなたかに代表になってもらって、花嫁衣裳をきていただいて未来館の会場内を嫁入り行列で練り歩いています。次に9月は敬老会ですけれども、これはとっても好評ですね、お年寄りの方々は昔を懐かしんでおられて、ご存知の方は一緒に唄を歌いながら、手拍子をたたいてくださって、とっても盛り上がります。他には8月がのしこら祭ですね。これは、毎年新婚の方1組か2組に参加していただいております。あとは文化祭の芸能祭ですね。それと約4年前ぐらいでしたが、KKTで1時間ほど特集を組んでいただきました。その時は役場の福田夫妻に出演していただいて、約30年ぶりに嫁入り道中を披露させていただきました。花嫁さんを先頭にしまして、親族や関係者の方々、そして嫁入り道具の行列が長洲嫁入り唄を歌いながら自宅から神社までの300mぐらいを実際に練り歩かしまして、その様子をテレビで放送していただいたものですが、放送後は反響も多くてですね、たくさんの方から見たよと声をいただきまして、私もとっても励みになりました。そして同時にですね、

長洲町のこの素晴らしい文化財を、責任を持って伝えていかなければいけないと身が引き締まる思いもしたところです。ただ、他の方のお話にもありましたけれど、後継者が不足しておりまして、新規の参加者がなくて、寂しく思っております。若い方、特に子供たちへの継承をどうしたらいいのか、悩ましいですね。さきほど清源寺神楽で、田上会長が腹赤小学校の授業時間をいただいて、啓発をされているという話がありましたが、どのような流れというか、いきさつでされているのか、とっても興味をもちました。今は、小学校も忙しくて、授業以外の時間をなかなか取れないという話も聞いています。うちの会も、長洲小学校の授業でお時間をいただけるなら、ぜひさせていただきたいなと思いました。授業でせつかく小学生に教える機会があるなら、子供の嫁入り唄なんかいいですね。これから長洲町を担う子供たちに、町の文化を継承していくことはとっても大事なことだと思っています。そうして子供たちが大人になった時に、また自分たちの子供に伝えていく。そうして次世代に受け継いでいってもらえたらいいなと思っています。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。次に的ばかい保存会の北野さん、よろしいでしょうか。

【北野的ばかい保存会会長】

北野です。よろしく申し上げます。

的ばかいは、ご存じのとおり大変長い歴史の中ではぐくまれてきた文化であり、長洲町の大切な財産です。一時前には、1月15日に決まって開催しておりましたが、参加者の確保やお客さんの利便性も考えまして、現在は第3日曜日に開催しております。

青年団を中心に出場者がたくさん、若い衆がほんとに多く参加しておりましたが、時代の流れでしょうか、一時は60名ほどになってしまい、これではまずいということで、先ほどお話しました開催の時期ですとか、これは良いのか分かりませんが、役場の若手職員に半ば強制的に出場してもらったりなどして、現在では何とか盛り返してまいりました。

的ばかいにおいて大事なものは、的ですね、この的づくりには、大体10時間くらいを要しまして、職人さんと言いますか、磯町区の方を中心に製作されてまいりましたが、こちらも後継者のなり手が少なくなっており、課題となっております。今は、前の漁協の倉庫前で、二日にわたって製作しておりまして、若手が2名参加してくれています。やはり作り方は独特のものがありますので、私がビデオに撮りまして、磯の館にて勉強会を開催しております。見て覚えることもできますし、記録にも残りますので、これからも続けていければと考えているところです。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。最後に、総括的なものも含めまして、文化協会の前田会長、よろしいでしょうか。

【前田文化協会会長】

文化協会の前田です。よろしくお願いします。

町長から総括的なお話がありましたので、そこらへんも含めて少し意見を述べさせていただきます。

私が文化協会の会長になった時に、いや、なる前から思っていたことなんですが、メインのイベントの文化祭ですね、11月に開催しておりますが、発表とバザーなどの日程が分かれていたんですね。これは、本当にもったいないと考えておまして、発表したらバザーに寄って買い物をする、見ていく、お互いに励みになる、そういった相乗効果が出ていないんですね。ぜひ一緒にしたいということで、11月2日、3日に集中的に行うことを考えています。ただ、課題もございまして、これは町にもお願いしたいことなんですが、駐車場のことと、控室の不足の問題がございまして。

文化協会においては、本当にたくさんの方、団体が多様な活動をされているんですけども、やっぱり高齢化が進んできておまして、団体数も会員数も減少傾向にあります。もっと、子どもたちに伝承していきたいという気持ちを持っていますので、まずは教育ですね。これは本当に正しいやり方なのかは分からないんですけども、ある程度の強制という言いますか、文化祭やイベントなどに、一定の参加を強制することは出来ないかと考えるんですね。待っているだけでは中々来てもらえない、やはり自主性に任せていても、厳しいものがあります。学校、先生が大変お忙しいということは重々承知しているんですが、文化や歴史の活動を授業に取り入れていただいて、何とかすそ野を広げたいと願っております。

この点で、ひとつ残念だったことがあるんですね。去年、町の方で開催された金魚サミットのことです。私も参加しておりましたけれども、会場におられる方は関係者ばかりで、ほとんど子どもの参加がありませんでした。これは、ミスですよ。民間にいた私に言わせてもらえば、広報が足りないのではという思いはあります。こういう長洲町の象徴である金魚の一大イベントに、子どもが参加していないのは、残念でなりません。

こういった場も含めて、子どもさんを参加させてもらうことに、大変意味があると思っております。まずは見て触れていただかないと始まらないんじゃないでしょうか。ぜひ、この点、ご検討をいただければと思っております。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。保存会の方、前田会長からたくさんのご意見などをいただきました。

こういったところについて、委員の皆様からのご意見、ご質問等が何かあったらお聞きしたいと思います。

まずは、坂本委員から、お願いしたいと思います。

【坂本委員】 それでは、失礼します。坂本です。

聞いておりまして一番感じましたのは、後継者の問題ですね。これは大変難しい問題でありまして、長い期間をかけて解決すべき問題だと思えます。ご苦勞も多いとは思いますが、試行錯誤しながら人材を見つけていく必要があるんでしょう。

また、子どもたちに、ある程度の強制力を持った参加を促していくというご意見もございましたけれども、学校としては、やはり全部に参加することは厳しいと考えます。地域や行政の協力が必要であり、文化財の紹介など、私たちが工夫して子どもたちに伝わるように考えていきたいと思えます。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

それでは、徳田委員、何かありましたらお願いいたします。

【徳田委員】 説明ありがとうございます。初めて聞くお話も多く、ご苦勞なされているんだというのが感想でございます。前田会長からお話ございましたけれども、これからの文化祭の改革に期待しております。わたしも、国際交流の方で展示をさせていただいておりますので、よろしくおねがいします。また、幼稚園や保育園の展示や、子どもが参加するアイデアをもっと出して、公民館祭りなど参加型のイベントも、もっと増えるといいかなと思えます。ありがとうございます。

【議長（中逸町長）】 それでは、隈部委員、何かありましたらお願いいたします。

【隈部委員】 まず、文化祭なんですが、ほんとうに寂しいんですよ。見る人が少ないもんですから、発表する方としてはほんと寂しいんですよ。ただ、それを増やすために、子どもに参加を強制するのではなく、まずは、楽しいと、来たくなる文化祭を作り上げていく必要があるんだと思えます。

参加者が減ってきているという問題もありましたが、もっと若い人や、定年後の人を誘っていく仕組み作りも考える必要があると思えます。

金魚の話もありました。金魚、金魚を知らない人はいませんけど、町民の方で家庭に実

際に金魚を飼っている人って、どのくらいいるんでしょうか。ほとんどいないんじゃないでしょうか。企業や施設などを見ても、金魚が飼われてないんですよ。こういったところから解決していくと言いますか、もっと、どこにいても金魚がいる。そういった町にしていく必要もあるんじゃないかなろうかと考えています。あと、文化財ですね。ホームページには少し情報はありますが、詳しく紹介している冊子がないですよ。せっかく歴史ある、後世に伝えていくべき文化財があるんですから、それを伝えていく努力をすべきですよ。こういった課題があるなと思います。以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。

では、田中委員、お願いいたします。

【田中委員】 もう大体意見が出たものと似ているんですけども、子どもが文化に触れあう機会が減ってきているのは感じています。にこにこでも文化サークルといいますか、今は将棋があるんですよ。これが結構参加者が多い。やっぱり興味があるもの、楽しいものには自然と人は集まると思いますので、そういったものを増やしていけたら良いですよ。あとは、子どもに伝えたい、参加してもらいたいということであれば、放課後子ども教室とのコラボも検討していいんじゃないでしょうか。大変でしょうけど。以上です。

【議長（中逸町長）】 それでは、まとめ的なもので教育長、いろいろとお願いいたします。

【戸越教育長】 この問題は、短い言葉、短い検討では結論は出ないんじゃないかなと思います。検討委員会みたいなものを立ち上げて、じっくり議論する必要があると思います。また、子どもの参加の件ですが、いろんなイベントなど、企画の段階から子どもたちに参加してもらって、当事者意識を持ってもらって、自分で考えていくような方向で検討することも必要です。まずは、いろんな関係者が集まって、いろんな検討がなされて、一定の方向性を出していく必要があると思います。

以上です。

【議長（中逸町長）】 ありがとうございます。あまりもう時間もありませんけれども、全体を通して、どなたかご意見等ございますでしょうか。

【塩山長洲嫁入り唄保存会会長】 ひとつよろしいでしょうか。いろんなイベントや教室が開催されているんですけども、よく聞く意見として、足が無いということがございます。高齢化も進んで、なかなか自分で移動できないという方も出てきていますので、そういった方面でも考えていただければと思います。

【前田文化協会会長】 よろしいですか。町内には、いろんな文化財がありますよね。町の文化財を子供たちに、はたしてどれくらい伝承できているのか、どうやったら文化を継承していけるのか、これはですね、文化協会としても大きな課題だと思っています。学校の授業、地域学習なんかでフットパスがありますね。そのフットパスと絡めて、町内の文化財を巡って、その文化財の説明を子供たちにさせてみるというのはどうでしょうか。説明をさせることで、子供たちも町の文化、歴史を学ぶきっかけ作りになります。町を実際に歩いてみることで見えてくるものがありますよね。地域の良さだったり。そして地元の人との触れ合いもできますよね。そうやって点と点を線で結ぶような活動ができればいいかな、と思います。

【坂本教育委員】 私からもよろしいでしょうか。町には多くの文化財がございますが、先ほど冊子の話もありました。せっかくホームページがあるのですから、文化財を紹介するようなコーナーがあっても良いのではないのでしょうか。一つの意見です。よろしく願いします。

【議長（中逸町長）】 坂本委員、ありがとうございます。もう時間が参りましたので、このへんで終わらせていただこうと思っております。今日はほんとうにありがとうございます。文化芸能の伝承が課題ということもありましたので、ふるさと塾の中で教えてもらうということも一つの方法であると考えております。子どもも忙しいです。その中で、時間を取ってもらって、効果的に伝えていけるような工夫を考えていく必要があるのではないのでしょうか。また、先ほど前田会長からもありましたとおり、フットパスを絡めた方法も有効ではないかと感じたところです。

今日は、委員の皆様からさまざまな提言、ご意見、課題をいただきました。これからも、議題として取り上げて協議をしてまいりたいと考えております。

本日の協議調整事項については、以上となっております。皆様、お疲れさまでした。それでは、事務局にお返しします。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、次第4であります、その他について事務局から連絡をお願いいたします。

【事務局（甲田総務課総務係担当）】 事務局からご連絡でございます。平成31年度の総合教育会議の予定についてご連絡いたします。平成31年度におきましても、これまでと同様に、年に4回の開催を予定しております。日程や協議事項につきましては、教育委員会と協議し、決定させていただきたいと考えております。ご協力を、よろしく願ひ

します。事務局からは以上でございます。

【司会（杉浦総務課長補佐）】 それでは、本日の会議は以上で終了となります。

これで、平成30年度第4回長洲町総合教育会議を閉会いたします。皆様、どうもありがとうございました。

以上、会議録の顛末を記録し、相違ないことを証するため、長洲町総合教育会議運営規約第6条第3項の規定に基づき、ここに署名する。

町 長

教育長